



柳田有希子 (チタニウム)

### Art Mirrors Life –アートがもたらす効果–

2015.7.11 (Sat) —25 (sat)

日、月 休廊 Closed on Sunday, Monday, Public Holiday

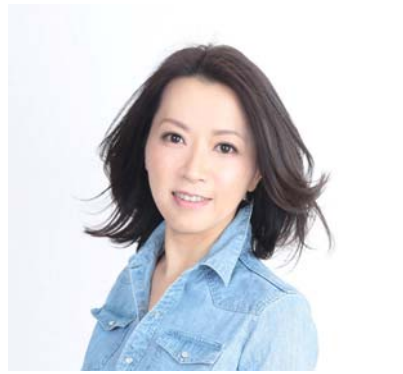
12:00 — 19:00

湯浅克俊 (木版)、柳田有希子 (チタニウム)、日出真司 (写真)、熊谷聖司 (写真)

Elizabeth Leroy (photo collage)、Monika Chlebek (油彩)

田島弘庸 (陶器)、斉藤友美恵 (陶磁器)、石井章 (錫) 他



	<p>BAR YUKI-SIS 7.17 (Fri) 19:30~</p> <p>「Interior + Art」 ゲスト 牛尾美香 (インテリア・コーディネーター)</p> <p>★入場料は入りませんが、ドリンクをお求めください。ビルの施錠上、21時までにご入場ください。</p>
---	---

## YUKI-SIS

東京都中央区日本橋本町 3-2-12 日本橋小楼 202 03-5542-1669

info@yuki-sis.com <http://yuki-sis.com>

3-2-12- # 202,Nihonbashi Honcho,Chuoh-ku,Tokyo

103-0023,JAPAN [+81\(0\)3.5542.1669](tel:+810355421669)

YUKI-SIS では、7月 11 日(土)ー25 日(土)グループ展 ”Art Mirrors Life ”を開催いたします。



日出真司 (写真)

### このアート、好き？嫌い？「よいアート」ってどんなもの？

「アートと暮らす」という言葉は、雑誌やインターネットでもよく見かけるようになりましたが、まだまだ「アートを買う」という事は、一般的に程遠いのが現状ではないでしょうか？

「どうやってよいアート作品を見つけたらよいかわからない」「どんなアートが好きなのかわからない」「アートをどうやって理解していいかわからない」そんなご意見をよく耳にします。

日本は全体のハーモニーを大切にする傾向があります。これは秩序を重んじる大変いい習慣とも言えます。しかし、多数決にみられる「みんなが良いと思うものは良いもの」という考え方は、実はアートを楽しむ上では必要のないロジックです。

アートは多数決ではありません。万人が嫌いだといっても、自分が好きであれば「好き」と言って構わないのです。また、その作品に何かを感じるのであれば、作家の伝えたい思いやコンセプトを知る事によって理解が深まり、その作品は自分の一部になっていきます。



Elizabeth Leroy (photo collage)



Monika Chlebek (Oil on Canvas)

## “Art Mirrors Life” アートはあなたの人生を映し出す

現在アートコレクターになっている方に、初めて絵を買った時のお話を聞いたことがあります。

「人生で辛いことがあった時に、1 枚の絵に出会った。何かにすぎる想いでその作品を購入したところ、その絵に会いたくて毎日まっさきに自宅へ帰るようになった。絵の魅力にとりつかれたのはそれがきっかけ」

暮らしの中に、自分にとって好きなもの、価値あるものを取り入れる事は、気持ちのよいものだという事をすでに私たちは知っています。それ加えて、アートには自分自身を映し出す力があると言えます。

「舌が肥える」という言葉にあるように、美味しいものを食す機会が増えれば増える程、感覚は研ぎ澄まされ、自分にとっての「美味しいもの」と「そうでないもの」を選択することができるようになります。アートも同じように、実際に生活をともにすることによって、その時点での自分の状況や心のひだに依じて、作品への理解が変化し、自分の心の有り様を映し出す鏡となり得ます。

今回の展覧会では、実際に「部屋に飾る、生活を共にする」という事をテーマに作品を選びました。自分の選んだ作品が、生活の中になじみ、生活の一部になっていく過程、何年も経過した後に改めて気づく作品の意味、など、自己の精神性ととも膨らんでいくアート作品に出会っていただけたらと思います。



斉藤友美恵 (磁器)



熊谷聖司 (写真)



湯浅克俊（木版）